

ストロベリームーン

写真上は17日に自宅ベランダから撮った、夕方の東南の空。なんとも味気ない景色だが、生駒山近くに月がくっきりと見えた。冬には日の出が楽しめるが、いまは東の方だ。久しぶりに月をじっくり眺めた。

ちょうどいい機会なので、ベランダからの景色を紹介しよう。左端の緑は「須賀神社跡」の大楠。昨年の台風21号で痛めつけられた

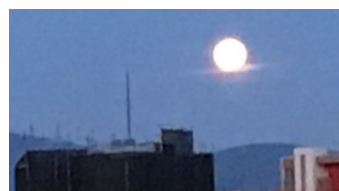


が、だんだんと回復してきた。黒いシートの建物が邪魔だが、その向こうに見える山並が生駒山である。右の方に移り、三角の建物の右横に「大願寺」が見える。その前で10階建てマンションが建設されており、まもなく「大願寺」も見えなくなってしまうだろう。新大阪から自宅近くにまで、開発の波が押し寄せつつある。

すぐフェイスブックに3枚の月の写真を投稿した。毎日レポートを書いて投稿しても、あまり「反応」はないが、こうした写真だと、たちまち「いいね」が返ってくる。愛用のiPadで撮ったもので、写りはよくないが。ある友人から「今夜の月がストロベリームーンと呼ばれると先ほどネットで見かけました。色合いはどうですか？」というコメントが早速届いた。写真では鮮明でないが、ストロベリーのようには赤くはなく、明るい「黄色い月」であった。



「ストロベリームーン」という言葉を初めて知ったので、ネットで調べてみた。ウェザーニュースというサイトに次のように書かれていた。アメリカの先住民は季節を把握するために各月の満月に名前をつけており、6月がいちごの収穫時期であったことから、6月の満月をストロベリームーンと呼んでいたと言われています。それが近年、SNSやネットニュースを中心に話題となり広まったのですが、元々がストロベリーの収穫時期に見える満月という意味のため、一部で言われているように、月がイチゴのようにピンク色に見えるということはありません。



自宅から眺めていて感じたのは、生駒山の上に輝く満月。それで「いこ満月」を思いついた。反応はないと思っていたが、これが意外にうけることに。「いこ満月」、略して「いこまん」をまた楽しみたい。

大阪淀川区に転居して1年半余り。名古屋星ヶ丘と比べて、残念ながら潤いに欠けるが、こうして生駒山を眺められるのが楽しみだ。自宅は地下鉄・JRなどの駅にも近く、ベランダからの景色も楽しめるので、当分はこのUR賃貸に「沈滞」することに？

(2019年6月20日)